

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、宮城県、大衡村が 東北工場に関する立地協定を締結

～三者間の協力体制を確認～

【東京・仙台—2014年1月21日】—ソーラーフロンティア株式会社（社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、本日、4番目のCIS薄膜太陽電池工場（公称生産能力150MW）となる「東北工場」に関し、村井嘉浩 宮城県知事、跡部昌洋 大衡村長と三者間で立地協定を結びました。工場建設は2014年3月までに開始される予定です（稼働開始目標は2015年3月）。

今回の協定は、ソーラーフロンティアの新工場建設計画（2013年12月19日発表）に基づき、関係各者が正式に締結したものです。新工場が導入する最新量産技術は、さらに効率的な生産と変換効率の向上により、CIS薄膜太陽電池モジュールにおいて、世界水準の低コストを実現するものです。この生産拠点は、今後グローバルプレーヤーとしての地位確立に向けた技術的な礎（いしずえ）、そして海外生産体制を展開するためのモデル工場としての役割も担っていきます。ソーラーフロンティアは東北の地からグローバル市場を見据え、さらなる成長を目指します。

村井 宮城県知事からは、「この立地決定により、震災復興と地元雇用の創出が進むものと考えています。同時に、地域の再生可能エネルギー普及と環境関連産業の発展にも大きな期待を寄せています。」との激励の言葉がありました。

これを受け、弊社代表取締役社長の玉井は、「本工場は、CIS薄膜太陽電池モジュールをさらに効率的に生産し、変換効率の向上も実現します。雇用の創出と地元企業の皆様とともに経済の活性化に寄与できれば幸いです。」と述べました。

ソーラーフロンティアは、今後とも、環境に優しく、持続性の高いCIS薄膜太陽電池技術を通して、クリーンな再生可能エネルギーを国際社会に提供し続けます。

以上

【概要】

工場用地	宮城県黒川郡大衡村 第二仙台北部中核工業団地
広さ	敷地面積：約 70,000m ² 建屋延床面積：約 15,000m ²
生産規模	150MW/年
生産開始	2015年3月までに稼働開始予定
従業員	およそ 100名を予定
投資金額	約 130億円

【立地協定式の様子：左から村井知事、ソーラーフロンティア玉井裕人、跡部村長の順】



記者会見には、新工場の責任者となるソーラーフロンティア(株)常務執行役員 吉田博も出席しました。

【ソーラーフロンティア東北工場 建設予定工業用地】



【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先：
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
吉田/川村 TEL: 03-5531-5792